

DLR・ドイツ企業との情報交換

DLR (Deutsches Zentrum für Luft- und Raumfahrt: ドイツ航空宇宙センター) とドイツの宇宙関連企業 (6社) が来日した機会をとらえ、我が国の宇宙関連企業との情報交換会を実施したので概要を報告する。

DLRは日本のJAXA (独立行政法人 宇宙航空研究開発機構) と宇宙機関同士の対話・協力を以前より行ってきたが、今後は海外の宇宙産業・企業とも対話・協力を進めて行きたいとの事で、6月12日にDLRはドイツの企業団 (6社) と共に来日した。

来日当日の午後、日本企業9社との情報交換会を実施した。

1. ドイツ側からの発表 (DLR及び6社)

- (1) Dr. Gruppe理事がDLRの紹介を行った。
- (2) Airbus Defense & Space社は、旧名称 Astrium社で、ドイツ/欧州最大の宇宙企業であり、Ariane-5ロケットの第2段の製造、地球観測衛星等の製造を行っている。
- (3) OHB社は、ドイツ第2位の宇宙企業であり、通信衛星、地球観測衛星等を得意分野とする。
- (4) Eurockot社は、ロシアと欧州の合弁企業であり、ロシアの小型ロケットを使用して衛星打上サービスを提供する会社である。日本のUSEFのSERVIS-1衛星、SERVIS-2衛星の打上げを行った実績もある。

(5) TESAT社は、衛星用の通信処理機器製造メーカーである。

(6) Jenoptronik社は光学センサを製造しており、日本のHTVドッキングセンサにも採用されている。

(7) Astro-Fein社は光学関係の衛星コンポーネントを製造する会社である。

2. 日本側からの発表 (SJAC及び4社)

当工業会の秦常務理事が日本の宇宙産業概要を説明した後、ロケット関係2社 (MHI殿、IHI殿) と衛星関係2社 (MELCO殿、NEC殿) に業務紹介を行って頂いた。

お互い、良い情報交換を行うことができ、今後とも協力を進めてゆくことで合意した。

尚、上記情報交換会以外に、ドイツの来日団は、JAXA殿、経産省殿、NEC殿との個別会議に加え、IHIエアロスペース・富岡工場、MELCO・鎌倉工場を訪問した。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部 (宇宙担当) 部長 宇治 勝〕